

「まちなか」活性化社会実験事業について

1 事業の概要

「まちなか」に来られた目的等のアンケートに答えていただいた方を対象に駐車場料金を一台 2 時間無料にするとともに、人流調査、交通量調査及び周辺施設の聞き取り調査を行い、「まちなか」活性化施策に資するための調査を行った。

(1) 実施場所 県営藍場町地下駐車場

(2) 実施期間 9月17日(日)から30日(土) 合計42日間
10月8日(日)から21日(土) { 平日 30日間
11月12日(日)から25日(土) { 土日 12日間

(3) 駐車場利用台数 16,100台(平日 8,695台 土日7,405台)
(参考)2022年 14,585台(平日10,226台 土日4,359台)
2019年 15,610台(平日10,859台 土日4,751台)

(4) アンケート回収数 15,057

2 アンケートの概要

(1) 駐車場の利用目的

・「イベント・娯楽」(約 40%)、「買物・飲食」(約 29%) で全体の約 69%

(2) 利用した施設

・ 駐車場に近接している「あわぎんホール・藍場浜公園」(約 44%)
「三越徳島・アミコビル」(約 30%) で全体の約 74%
・ それ以上離れた施設の利用は少なくなっており、今回の社会実験での
駐車場利用者の利用範囲は、半径 250m 程度であることが推測された

(3) 「まちなか」の訪問頻度

・ 「ほぼ毎日」(約 3%)、「週 1～2 回」(11%) で全体の約 14%
・ 今回の社会実験では、日常的に「まちなか」を訪問している人の
割合が少なかった

(4) 「まちなか」の活性化に必要なもの

- ・「知名度の高い店舗」(約24%)、「駐車場料金を含む利便性の向上」(約23%)
「コンサートなどの大規模イベント」(約14%)で全体の約61%

(5) 駐車場を利用した感想

- ・「駐車場料金が無料、低料金であれば訪問したい」(約39%)
「また訪れたい」(約30%)、
「訪問したい施設、イベントがあれば訪問したい」(約30%)

(6) 駐車場の利便性向上について

- ・『今回の実験の結果、「まちなか」が活性したかを検証してから駐車場の利便性向上を検討すべき』が約60%であった。

3 周辺施設の聞き取り調査

周辺の施設47者に聞き取り調査を行ったところ、来店客数や売上が増えたとの回答がそれぞれ13%、9%あったが、それは当駐車場から半径250m範囲内の施設であった。

4 人流調査(駐車場の周囲約300mの範囲)、交通量調査(駐車場の近隣4カ所)

社会実験期間中及びその前後する期間外の任意の日人流調査及び交通量調査を行ったところ、ほぼ同じような数字であった。

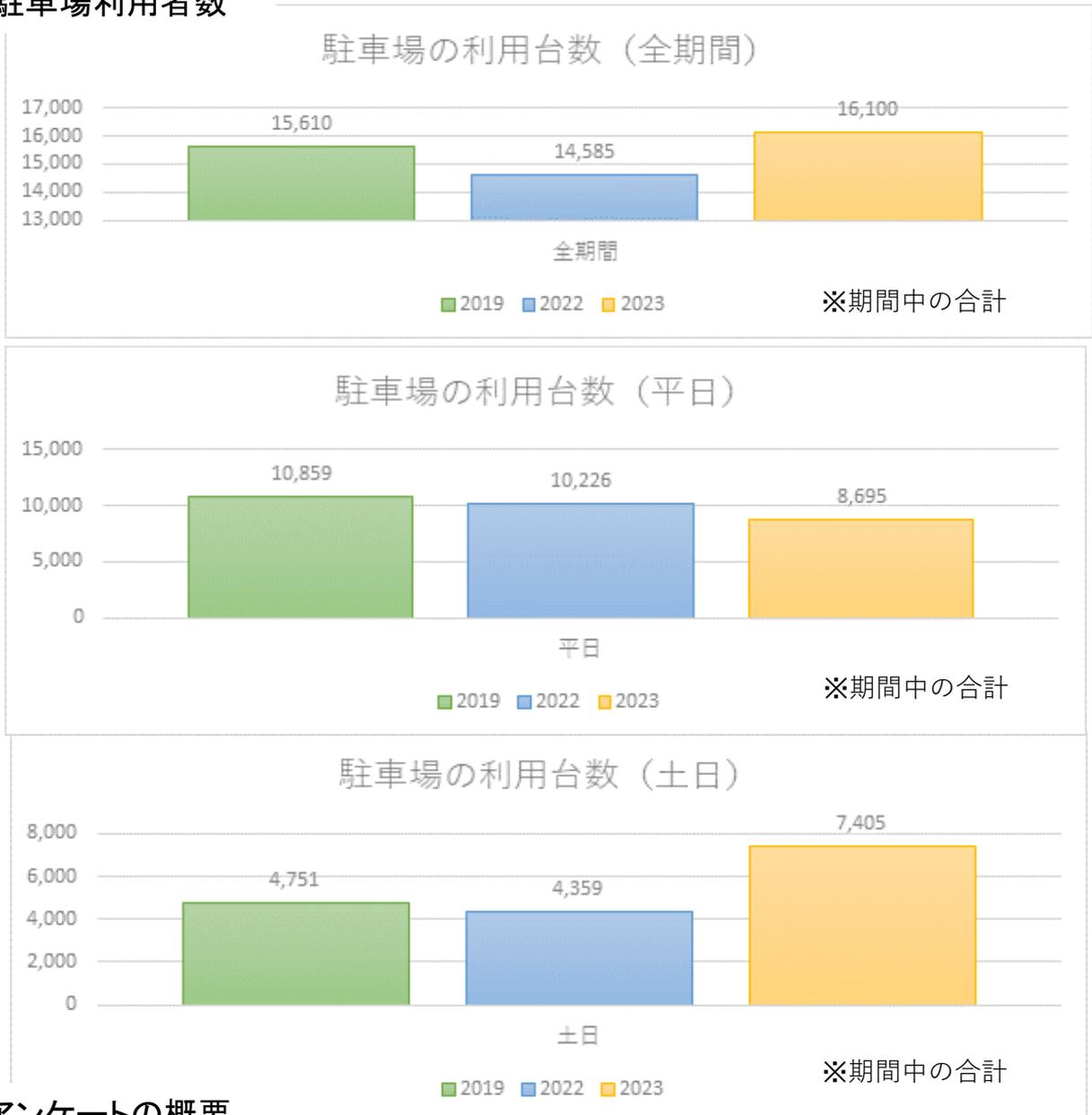
人流調査 期間中 1日平均49,342 期間外 1日平均49,484

交通量調査 期間中 1日平均20,000 期間外 1日平均20,061

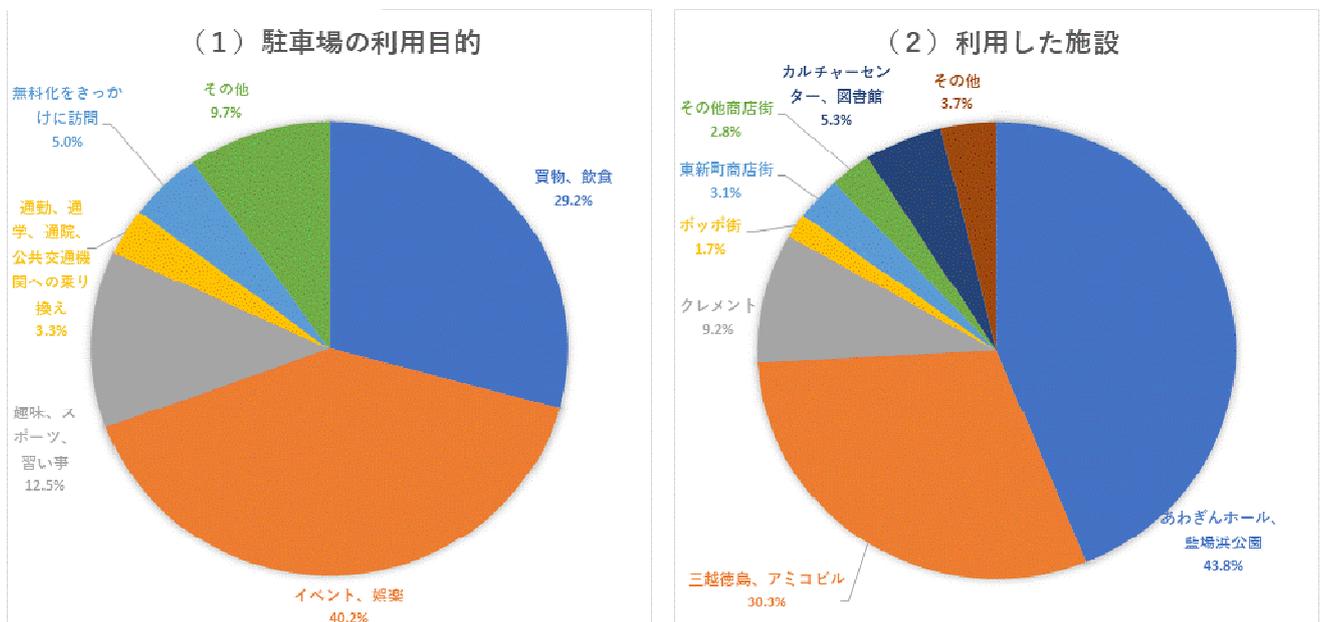
5 今回の社会実験事業のまとめ

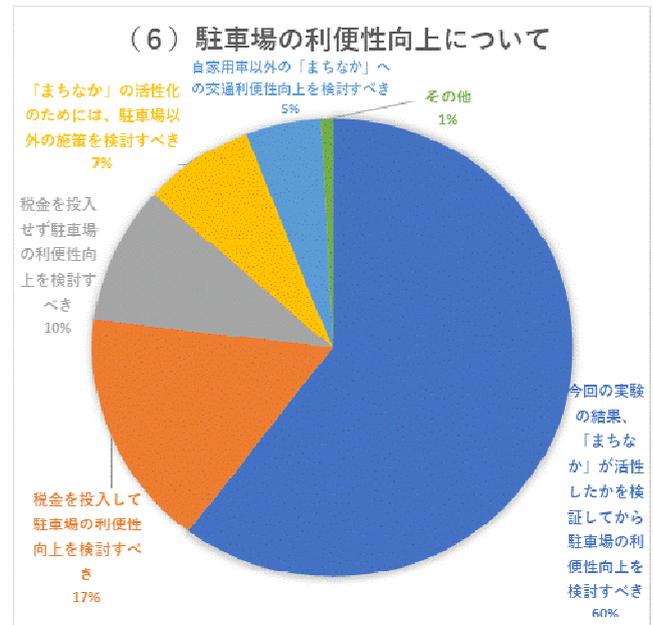
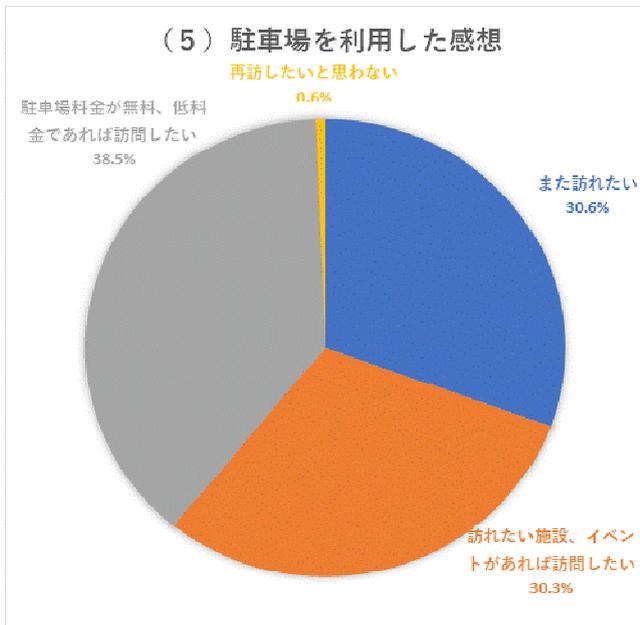
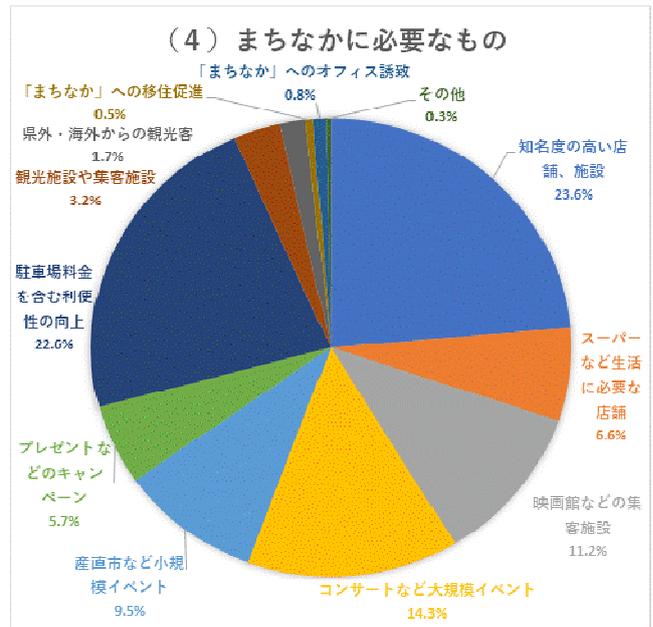
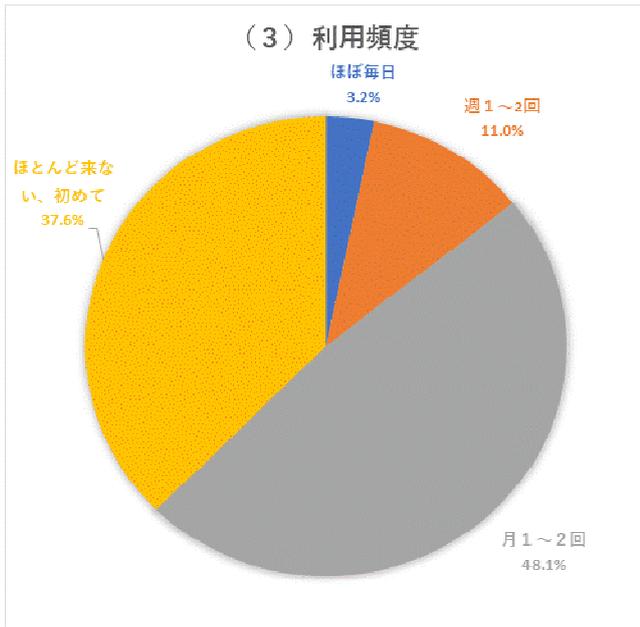
- ・ 当駐車場の近隣施設で、集客力のあるイベントが開催されているときは、駐車場の利用者が増えた一方で、イベントのない平日の利用者は、減少傾向にあった。
- ・ また、訪問頻度や、利用目的から、今回の社会実験による駐車場利用者の多くが、「非日常的な目的」で「まちなか」を利用していたと考えられる。
- ・ さらに、駐車場利用者の行動範囲が、当駐車場の半径250m範囲程度であったことから、「まちなか」全域への回遊、波及効果については、少なかったと考えられる。
- ・ これらのことから、「駐車場の利便性向上」の声は利用者の中では多かったものの、まずは「日常の魅力向上」として、普段から利用される施設や店舗展開を図った上で、集客力のあるイベントの開催による「非日常的な魅力向上」を図るとともに、「まちなか」の回遊性をもたせるため、点ではなく面として「まちなか」関係者が相互に協力して、取り組むことが必要ではないかと考えられる。

1. 駐車場利用者数



2. アンケートの概要





主な自由記載

駐車場	買い物しない場合もあるので、最初の1時間は無料など、気兼ねなく訪れられる環境整備が必要
	駐車場二時間無料はありがたい、続けてほしい
	駐車場代が無料だったので、初めてまちなかに来ることが出来た
	図書館を利用するときは便利
イベント	若い人に魅力あるイベント
	老人向けのイベントや施設の充実
	定期的に魅力的なイベントの開催
魅力向上	空き店舗が多いので、知名度があり集客力のあるお店
	モールに負けない店の充実、商店街の活性化
	高齢者にも障がい者にもやさしい街
	若者が楽しめる施設、子どもたちと一緒に遊べる施設
その他	交通機関の充実
	無料の自転車置き場の充実
	SNS(インスタやTikTok)を活用して若い人が集まるようにしたら良い